

# 一般社団法人日本ファームステイ協会よりご案内 【JPCSA 通信 Vol.36】

2021年9月28日発行

会員各位

一般社団法人日本ファームステイ協会事務局です。

いつも当会の活動にご理解頂き、誠にありがとうございます。

あっという間に9月も終盤となり、気が付けばセミの鳴き声よりも鈴虫の鳴き声を感じる季節となりました。皆様どのような季節の変化を感じられているでしょうか？

さて、今回は下記の内容で<JPCSA 最新情報>、<農泊関連情報>をお届けいたします。

- ◆「第2回 多様な地域資源の更なる活用に関する農泊推進研究会」を開催しました
- ◆「第1回 全国農泊ネットワーク宮城大崎大会」が開催されました！
- ◆農山漁村地域づくりホットラインが開設されました！
- ◆観光施設における心のバリアフリー認定制度に関するご案内
- ◆(一社)秋田犬ツーリズム主催「奥秋田 農泊プログラム」研修のご案内

## 【コロナウイルス対策に関する周知依頼】 (R. 3. 9月通知分)

農林水産省より、緊急事態宣言に係る通知、催物の開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等、出勤者数削減のためのテレワーク等の徹底また、ワクチン接種証明の利用に関する考え方についてが示されました。

皆様におかれましては、以下の資料をご確認の上、ご周知いただきますようお願い申し上げます。

- ・ [新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急事態宣言等について](#)
- ・ [出勤者数の削減（テレワーク等の徹底）について](#)
- ・ [基本的対処方針に基づく催物の開催制限、施設の使用制限等に係る留意事項等について](#)
- ・ [新型コロナワクチン接種証明の利用に関する基本的考え方について](#)

## 主な協会行事

実施月	行事	内容
9月	3日「多様な地域資源の更なる活用に関する農泊推進研究会(第2回)」	次世代の農泊に関して、有識者を交えた農泊関係者、観光事業者などで構成される研究会で幅広い情報を共有
	5日「第1回 全国農泊ネットワーク宮城大崎大会」の開催	全国の農泊関係者が情報共有や交流を図る機会として、実践者からの事例紹介や、有識者による討論会を開催
	25日 令和3年度農山漁村振興交付金事業（地域活性化対策（人材発掘事業））共通研修	農山漁村体験研修参加予定者及び受入予定地域関係者を対象に、農に関わる基礎知識を学ぶ場としての研修会において、基調講演、講義に登壇

## <JPCSA 最新情報>

### ～ JPCSA News ～

#### ◆「第2回多様な地域資源の更なる活用に関する農泊推進研究会」を開催しました

9月3日（金）に「第2回 多様な地域資源の更なる活用に関する農泊推進研究会」をオンラインにて開催しました。現在、「農泊」への取り組みが全国的に定着する一方で、コロナ後における田園回帰など中長期的な需要への期待も踏まえ、「質と量」両面での充実が求められています。そこで、2度目の開催となった今回は、有識者による講演に加え、実際に農泊に取り組む地域の方々をリモートで繋ぎ事例紹介等が行われました。

主催者の農林水産省からは、前回に引き続き宮内副大臣が参加されました。当会からは本研究会の議長を務める皆川副会長理事と有識者委員の上山代表理事、総合司会の大野事務局長が参加しました。



農林水産省 宮内副大臣



皆川副会長理事(本研究会 議長)



#### 【大紀町地域活性協議会 事務局長 山添氏】

三重県大紀町の日本一のふるさと村は、SAVOR JAPAN に認定された希少価値の高い特産松阪牛の提供、鮎づくし料理、干物づくり、郷土料理べっこう寿司づくりなど食を意識した体験コンテンツの開発をPRされました。



#### 【蔵王農泊振興協議会 相澤氏】

蔵王農泊振興協議会は、豊富なバリエーションの1棟貸し宿泊施設において、高速Wi-Fi や仕事用スペースの提供をするなどワーケーションの事例を紹介されました。

また、その後の総合討議では農泊関係者、観光事業者など様々な知識や知見を持った有識者で構成される本研究会ならではの幅広い情報共有や意見交換が行われました。宮内副大臣は「アフターコロナに向けてそれぞれの地域で魅力を十分に溜めておいてほしい」とコメントされました。なお、次回の開催は来年2月を予定しています。

資料は[こちら](#)

## <農泊関連情報>

### ～ Countryside Stay News ～

#### ◆「第1回 全国農泊ネットワーク宮城大崎大会」が開催されました

9月5日（日）に「第1回 全国農泊ネットワーク宮城大崎大会」が開催されました。新型コロナウイルスの影響により全日程がオンラインのみでの開催となりましたが、農山漁村を元気にするため全国から多くの参加者が集まり、情報・意見交換が行われました。

当会は共催として、大会アドバイザー兼総合討論司会に青木所長、パネリストに上山代表理事が参加しました。



青木所長（本大会アドバイザー）



上山代表理事（総合討論パネリスト）

また、午後には以下の6つの分科会に分かれ、各地域での事例報告が行われました。

テーマ	
第1分科会	遊ぶ・これからのツーリズム ～グリーン・ツーリズムーその実践成果の継承と発展～
第2分科会	繋ぐ・支えあう仲間づくり ～農泊推進における組織体制確立とネットワーク化～
第3分科会	学ぶ・SDGsを農山漁村に学ぶ ～世界農業遺産の保全活用とツーリズム～
第4分科会	食べる・おらほの食文化 ～日本型農泊推進における食文化活用～
第5分科会	見る・美しい農村（むら）づくり ～美しい農村景観と地域資源の活用～
第6分科会	泊まる・よみがえる農村 ～農泊の普及とその可能性～

資料は[こちら](#)

#### ◆農山漁村地域づくりホットラインが開設されました！

農林水産省では、農山漁村の現場で地域づくりに取り組む団体や市町村等の皆様からの相談を受け付け、地域づくりに関する取組を後押しするための窓口「農山漁村地域づくりホットライン」が開設されました。

##### <ホットラインでの主な支援内容>

- (ア) 農山漁村における地域づくりの実態や要望・課題をお伺いし、相談者に寄り添い、ともに考えます
- (イ) 相談内容を踏まえ、他府省を含めた国の支援制度をご紹介します
- (ウ) 参考となる全国各地の取組事例をご紹介します

※このホットラインは、地域づくりに関する取組の後押しを目的としており、特定の個人への支援を目的としたご相談は対象となりません。

各窓口一覧は[こちら](#)

パンフレットは[こちら](#)

農林水産省公式HPは[こちら](#)

#### ◆観光施設における心のバリアフリー認定制度に関するご案内

観光庁では、バリアフリー対応や情報発信に積極的に取り組む姿勢を持つ観光施設を対象に「観光施設における心のバリアフリー認定制度」が新たに創設されました。認定施設では、観光庁が定める認定マークを使用し、ご高齢の方や体に障がいを持つ方々がより安全な旅行をするための環境であることを提示することができます。詳しくは観光庁HPをご確認ください。

## <賛助会員からのお知らせ>

### ～ From Supporting Members ～

#### ◆(一社)秋田犬ツーリズム主催「奥秋田 農泊プログラム」研修のご案内

(一社)秋田犬ツーリズムでは、農泊に関心のある方を対象に、全5回9つの研修を開催します。研修は、主にこれから農泊を始めたい方向けの「導入編」と、既実践されていてステップアップしたい方向けの「実践編」がございます。各研修へのご参加並びにリモートでのご参加が可能です。(アーカイブ配信あり)

詳しくは[こちら](#)

(一般社団法人 全国農協観光協会HP)

#### テーマ：情報発信

導入編	実践編
「情報発信の導入方法」	「情報発信の実践方法」
(一社)全国農協観光協会 白木 勝規	里山ゲストハウスクチュール 工忠 照幸・衣里子
大館会場：11/24(水)13:00～14:30	大館会場：11/24(水)15:00～17:00
北秋田会場：11/25(木)13:00～14:30	北秋田会場：11/25(木)15:00～17:00

(参加費：無料 定員：各会場先着40名)

お申込みは[こちら](#)

(一社)秋田犬ツーリズムHPは[こちら](#)

いかがでしたでしょうか？

最後までお読みいただきありがとうございました。

当会では随時会員を募集しております。

皆様の周りに農泊に取り組中、またはご関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、当会をご紹介いただけますと幸いです。

ご質問等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

また、会員様が実施されます農泊関連イベントや研修については、こちらのメールマガジン上で告知を承ります。掲載のご希望がございましたら、送信希望月の1カ月前までに下記E-mailへご連絡をお願い致します。受信後、当会担当者よりご連絡をさせていただきます。

発行：一般社団法人日本ファームステイ協会事務局

〒101-0021 東京都千代田区外神田2-17-2

(TEL：03-3526-2493 / FAX：03-3526-2494)

ホームページURLは[こちら](https://jpcsa.org/)：<https://jpcsa.org/>

問い合わせ先E-mail：[info@jpcsa.org](mailto:info@jpcsa.org)